

精 選 作 家
双 書 Ⅰ 期

大谷 茂句集

飛
白

木阿弥書店

参道の雪の飛白となりにけり

標柱の掠れし庵梅真白

星座なすやうに蒲公英咲きにけり

竹皮を脱ぐ傍らの名刀展

秋茄子の盛られし筈の匂ひけり

音の違ふ神鈴ふたつ新松子

初凧の光の中の孤舟かな

初旅やはがね光りの海の面

冬萌や秋櫻子句碑先づ訪はな

外濠の灯影寒暮の神楽坂

屋根に浮標のせ春光の船溜り

鷹鳩と化し己が眼の蘇生せり

俳聖の像がぎろひの草加宿

万緑の中白壁の蔵のあり

一陣の風一瀑の巖吼ゆる

一幅の山水色なき風と訪ふ

能箒爆ぜて城下の銀河濃し

大銀河曳かるる山車の軋みけり

祭ばやしの佳境しづかに川流る

山車の灯の影ゆらめきつ川上る

秋まつり街沸騰の曳つかはせ

江戸囃子途絶え夜長の城下町

妻と飲む午後のコーヒー鳥渡る

母の顔見てゐるやうな盆の月

逝きし兄在す御社夕ざくら

零余子飯供へて姉の忌を修す

父の忌や兄と分け合ふ柿一つ

幼子と交す御慶の電話口

ちちははの影追うてみる秋山河

夜なべする母はいつもの鼻眼鏡

寒禽のこゑ山壁の深まりぬ

韻くまで稿を敲かむ冬銀河

業平のゆかりの田の面雪間草

トルソーの顔かんばせ想ふ蝶の昼

河岸跡に来て天心の月涼し

星
揃
ふ
十
一
月
の
来
り
け
り

著者略歴

野口香葉 (のぐち・かよう)

1936年 埼玉県生れ

1993年 「遠嶺」入会

1994年 「遠嶺」同人

現 在 「遠嶺」同人 (高嶺集)

現代俳句協会会員

現住所 〒350-0416 埼玉県入間郡越生町越生741

電 話 049-292-2123

句集 てんによぎくら 天女櫻 <精選作家双書Ⅸ>

2002年9月30日 発行

定 価：本体2800円 (税別)

著 者 野口 香葉

発行者 本阿弥秀雄

発行所 ほんあみ 本阿弥書店

東京都千代田区猿楽町2-1-8 三恵ビル 〒101-0064

電話 03-3294-7068 (代) 振替 00100-5-164430

印 刷 三和印刷+方英社 製 本 松栄堂製本所 (1670)

©Kayō Noguchi 2002 ISBN 4-89373-864-X